

農林水産省・農林水産技術会議事務局委託プロジェクト研究  
「脱炭素・環境対応プロジェクト」  
「みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業」

課題名：「ブルーカーボンの評価手法及び効率的藻場形成・拡大技術の開発（R2-R6）」

## R5年度の研究開発の進捗状況

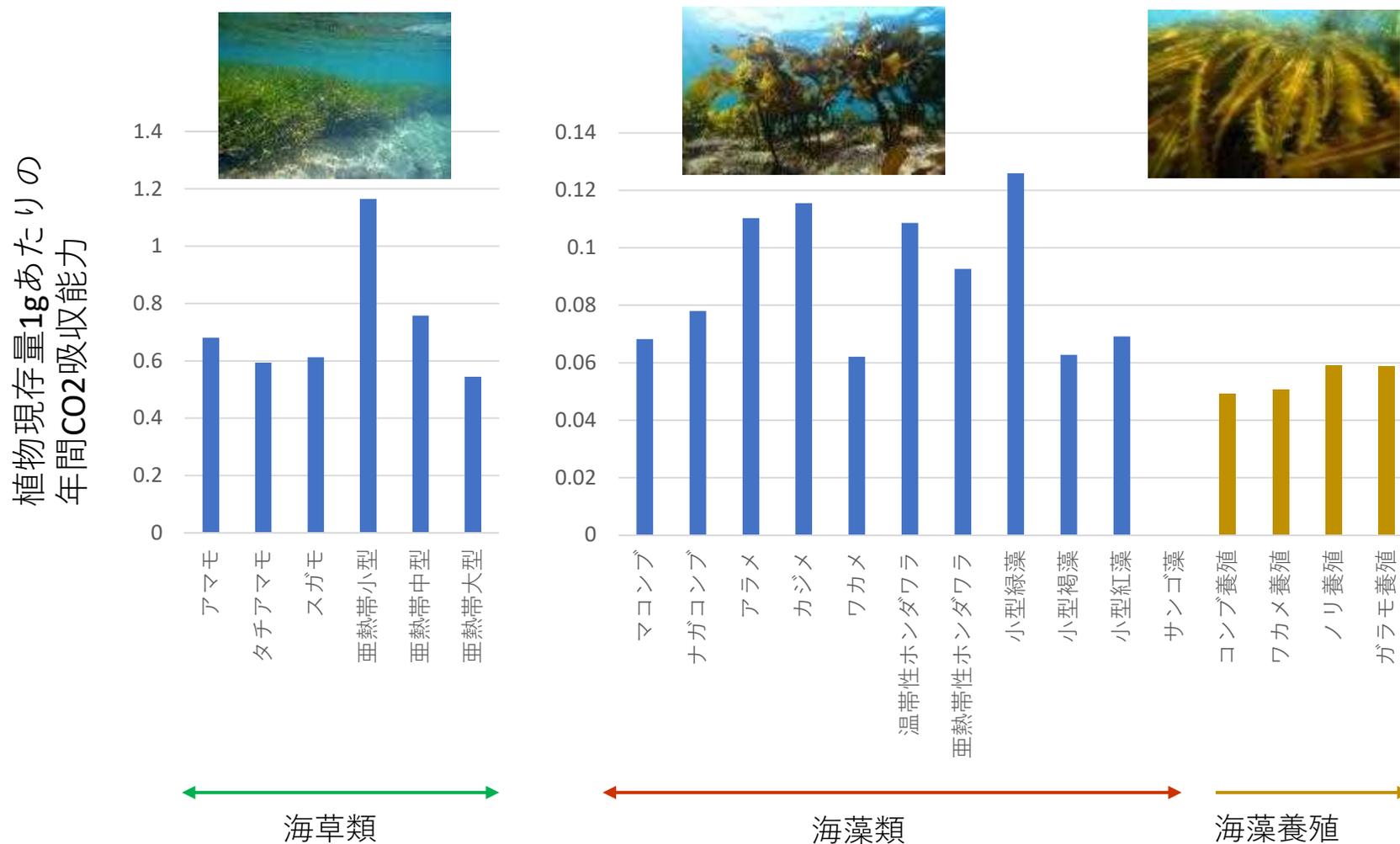
### 1. 藻場タイプ別の吸収係数評価モデルの開発と二酸化炭素吸収量の全国評価（R2－R4）

昨年度に確定した吸収係数の算定モデル、海区別・藻場タイプ別の吸収ポテンシャル（対象とする海草・海藻種の乾燥重量1gあたりのCO<sub>2</sub>貯留能力、これに最大現存量をかけると吸収係数になる）と吸収係数について、それらの数値の普及を見据えたガイドブックを作成。現在、近日中に公表に向けて準備中。昨年度確定済みの全国評価値については論文化を進めているところ。

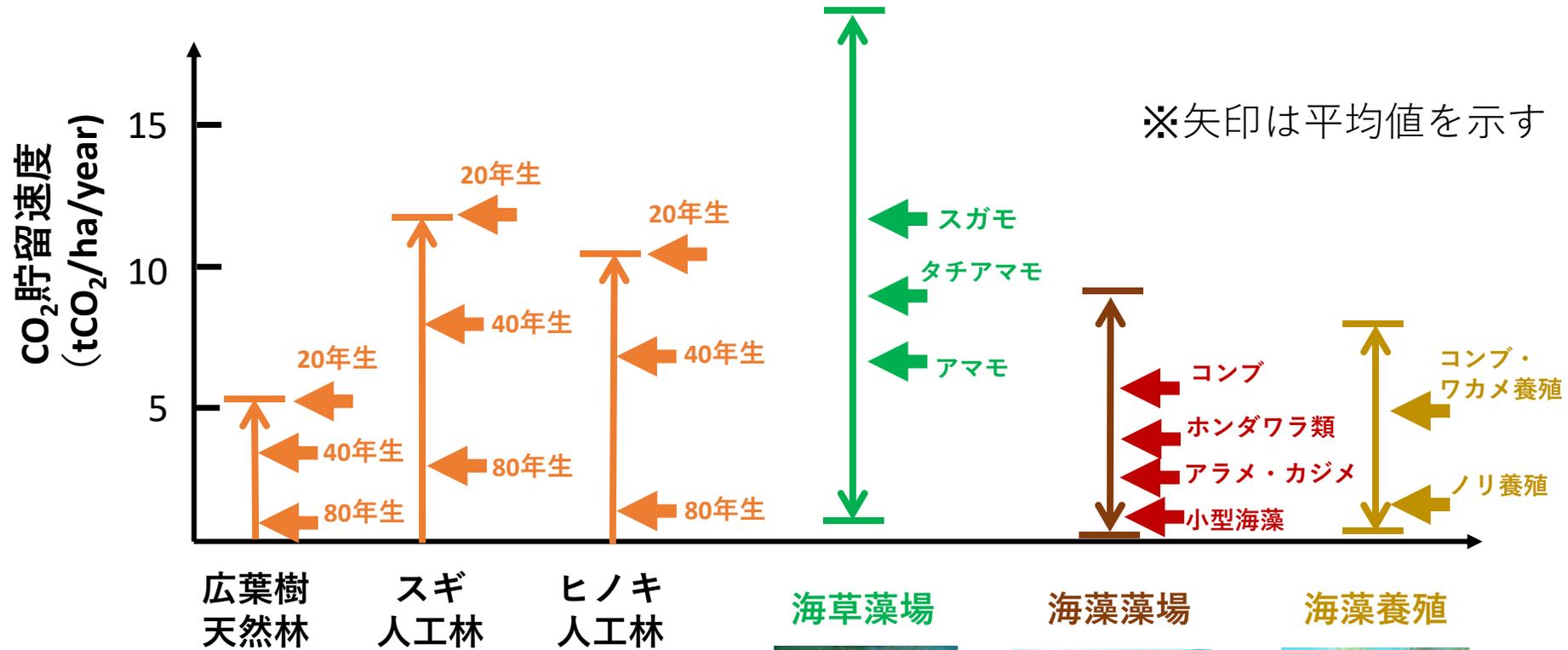
### 2. ブルーカーボンの増強技術の開発（R3－R6）

各海域の藻場の減衰要因に対応した効果的な対策技術を開発し、藻場面積を増加させる技術開発試験を実施中。各海域で吸収係数の増大と生態系保全機能（食料生産含む）とを両立させる技術を中心に研究を進めている。R5年度からは増強技術の開発に重点を移し、海草類を対象とした技術、海藻類を対象とした技術の2つの軸で進めているところ。

# 吸収ポテンシャルの海区間平均値



# 吸収係数の海区間平均値と最大最小幅（比較のため陸上樹木の値も掲載）



森林総合研究から換算所  
 (<http://www.ffpri.affrc.go.jp/research/dept/22climate/kyuushuuryou/documents/page1-4-per-year.pdf>)

